

『公共情報コモンズ』の導入に向けた報告書（案）を議論 ～ 北陸情報通信協議会「安心・安全部会」第3回会合を開催 ～



挨拶する齊藤局長

総務省北陸総合通信局(局長 齊藤 一雅)と北陸情報通信協議会(会長 永原 功 北陸経済連合会会長)は、11月6日、金沢市内で、同協議会「安心・安全部会」の第3回会合を開催しました。

冒頭、齊藤一雅北陸総合通信局長が、「本部会では、主体的かつ問題解決型の姿勢で積極的に対応していただいております、大変ありがたい。災害はいつ起こるか分からないので、できることから、早くやっていくことが基本だと思う。」と挨拶した後、部会長の宮島昌克金沢大学理工研究域環境デザイン学系教授の進行により、議事が進められました。

今回の会合では、民間事業者のクラウドサービスを活用する『公共情報コモンズ活用ソリューション』【別紙参照】が提案されました。

これは、“現行の『防災情報システム』の改修時期に合わせないと、公共情報コモンズの導入ができない”という、多くの県・市町村に共通する課題に対応するもの（＝市町村が防災情報システムを経由せず、かつ、安価に公共情報コモンズに接続できるようにするソリューション）であり、『防災情報システム』の改修時期がネックになっている多くの地域に対して、新たな選択肢を提供するものとして期待されます。

また、本部会の取組のまとめとして、『公共情報コモンズ』の導入に向けた報告書（案）が提案され、意見交換を行いました。

同報告書（案）は、本会合でいただいたご意見等を反映し、12月12日（水）に開催される最終会合でとりまとめられる予定です。



部会の様子

問い合わせ先：情報通信部情報通信振興室 076-233-4430

公共情報コモンズ活用ソリューション①

(株)石川コンピュータ・センター提供資料


WEB版
情報入力サービス



**コモンズ連携
クラウドサービス**

- 避難情報
- 避難所情報
- お知らせ
- 報告書作成

代行入力



公共情報コモンズ
コモンズネットワーク

放送事業者



携帯事業者



ポータル事業者



新聞社



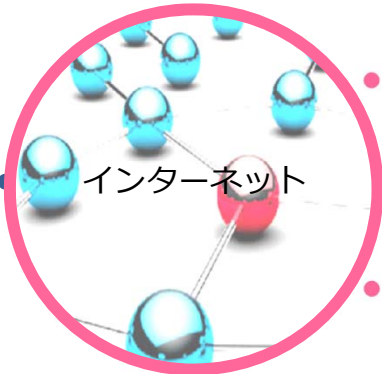
メール



緊急速報メール



SNS
facebook, twitter

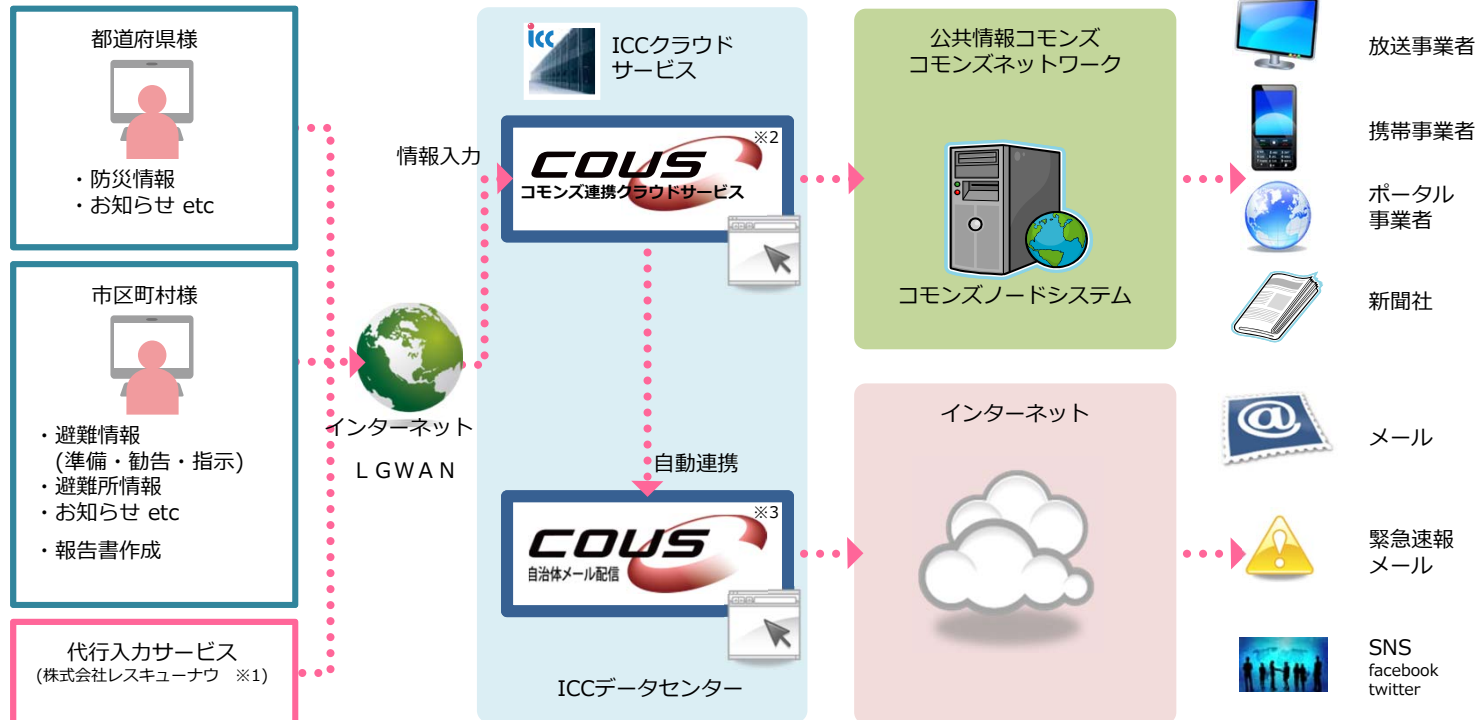


インターネット

公共情報コモンズ 活用ソリューション

公共情報コモンズ活用ソリューション②

サービスイメージ



(株)石川コンピュータ・センター提供資料

※1 株式会社レスキューナウは、最新の情報技術を駆使して、危機に対する迅速な援護と復旧、復興と予防を担う危機情報管理会社です。
 ※2 COUSコモンズ連携サービスは、ICCデータセンターで運用・提供するクラウドサービスです。
 ※3 COUS自治体メール配信は、ICCデータセンターで運用・提供しており、全国の団体様でご導入頂いているクラウドサービスです。

操作イメージ



公共情報コモンズ活用ソリューション③

(株)石川コンピュータ・センター提供資料

導入効果

- COUSコモンズ連携クラウドサービスでは、公共情報コモンズ、インターネットへの一括情報配信に対応します。
緊急時に求められる即時性、容易性、確実性を備えたサービスがご利用頂けます。
- クラウドサービスであるため、インターネット環境さえあればPC、携帯電話、タブレット等からの情報発信が可能となります。
操作を庁内専用端末に限定しないため、「いつでも、どこでも、誰にでも」を実現します。
- 低料金でのサービス(月額)となるため、導入団体様のご負担は最小限にとどめます。
いまお使いの防災情報システムとの並行活用ツールとして、またバックアップ用ツールとしての追加導入も十分にご検討頂けるサービスとなります。
- メール配信、緊急速報メール配信、SNS連携、および代行入力サービスは、既に多くの団体様でご利用頂いている弊社「COUS自治体メール配信」との連携により、安定・安全なサービス提供を実現します。
報告書作成機能では、国・県への報告業務をサポートします。